

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 藤井秀香

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/fujii/>

E-mail : fujii@rid2640g.com

会長: 山中喜八郎 幹事: 塩見 守 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 笹山悦夫

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2020年10月30日(金)第1895回

卓話 「2代目の悲劇と4代目の野望」

卓話者 畑中 一辰 会員

今週の歌 「R-O-T-A-R-Y」

「紅葉」

お客様の紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

今週の歌「紅葉」

秋の夕日に照る山もみじ

濃いも薄いも数ある中に

松をいろいろの楓(かえで)や蔦(つた)は

山のふもとの裾模様(すそもよう)

溪(たに)の流に散り浮くもみじ

波にゆられてはなれて寄って

赤や黄色の色さまざまに

水の上にも織る錦(にしき)

前回の例会

2020年10月23日(金)第1894回

卓話 「堺と鉄砲」

卓話者 堺市文化財課 非常勤職員

井溪 明 様

紹介者 堀畑 好秀 会員

今週の歌 「日も風も星も」

「ちいさい秋みつけた」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間・

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○ロータリー財団表彰

三上尚嘉会員・・・ポール ハリス フェロー③

＜10月23日(金)の出席報告＞	
会員数	30名
出席会員	22名
欠席会員	8名
ゲスト	1名
ビジター	0名

次回の例会

2020年11月6日(金)第1896回

卓話 「財団奨学生イタリア留学紀行」

卓話者 元ロータリー財団奨学生

梅林寺 御住職 木下 大朗 様

紹介者 嶽盛 和三 会員



2020-21年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク (ドイツ・ヘルツォークトウム・ラウエンブルク・メルンRC)

卓 話

「 堺と鉄砲 」

堺市文化財課 非常勤職員
井 溪 明 様



日本に鉄砲が入ってきたのは天文12年(1543)とされています。その時、堺の鋳物師橋屋又三郎が、ポルトガル商船が種子島に漂着し伝えた鉄砲一挺を譲り受け、その製法等を習熟します。帰堺後、製造にあたり「鉄砲又」と称せられて、わが国鉄砲製造の始めとされています(異説もあります)。

戦国時代を通じて鉄砲の生産は、堺はもとより滋賀県長浜の国友村などを始め各地でも盛んとなり、戦の形を変えたばかりではなく天下の雌雄を決するきっかけの一つともなりました。関が原から大坂の陣で勝利した徳川家康は、天下を自らの手に納め、鉄砲製造についても幕府の管理下に置きました。堺はその管理者(年寄)としてまず榎並・芝辻両家を中心となって製造が行われます。この二家はいずれも家康の命の元、鉄砲・大砲などの武器製造を引き受け、鉄砲製造地堺の名を全国に知らしめる役割を果たしました。ちなみに芝辻家は元和5年(1619)、家康から得ていた北半町東3丁の地に、ここが堺の鬼門にあたるとして稲荷を勧請し、高須稲荷神社を創建します。また榎並家は、延宝5年(1677)菅原神社楼門を造立寄進しました(昭和41年(1966)大阪府指定文化財)。鉄砲製造は、銃身・台座・飾り金具・象嵌など分業によって行われました。この二家を始め多くの鉄砲製造関連従事者が北半町から柳之町辺りにかけて住んでいたようです。この製法により大量の注文も遅滞なくこなすことが出来たといえます。ちなみに庖丁生産も同じように分業製造で、堺の物づくりの原点は、この分業制度にみることが出来るかもしれません。江戸前期までは武器として製造された鉄砲は、徳川政権下で安定した国内においてその需要は下がってきます。これまで、堺の鉄砲産業はそれゆえに江戸後期には衰退していったと歴史学の世界では通説とされてきましたが、今回新たに発見された鉄砲鍛冶井上家の、2万点を超える膨大な古文書によって、決してそうではないということ

が明らかになりつつあります。

井上家のこの古文書群の特徴を、現在判明している中でいくつかあげますと、井上家を中心とする鉄砲製造も先の榎並・芝辻同様分業生産で、しかもレディメイドではなく概ねオーダーメイド、注文製作行われていたこと、取引先(出入先)は九州から東北まで全国の諸大名に及んでいたこと、特に愛媛県大洲の加藤家とはきわめて親密な関係にあり、所謂お抱え鉄砲師であったこと、さらに大坂城内にあった武器庫のおびただしい数の鉄砲のメンテナンスをほぼ一手に引き受けていたこと、また毎年交代で大坂城番となる大名家の鉄砲調達を引き受けていたことなど、などが見て取ることが出来ます。これらは江戸中期から幕末まで継続的にあり、井上家の例を見ても、堺の鉄砲製造が衰えていったとは決して言えないものでした。

また井上家に現存するのは鉄砲関係資料だけではありません。町役をしていたこともあるため、北旅籠を中心とした町組や祭礼等行事関連資料なども含まれており、江戸後期の堺の町のありようの一端が具体的に見ることが出来ます。

この井上家の今日ここにある姿を伝えてきた奇跡ともいえるべきものは主に二つ挙げることが出来ます。

まず、井上家のある北旅籠町一帯が、昭和20年7月の堺大空襲を免れたこと。当時の市内中心部はその空襲でほぼ壊滅したため、それぞれの大店小店にあったであろう古文書をはじめとした資料の大多数は焼失しました。

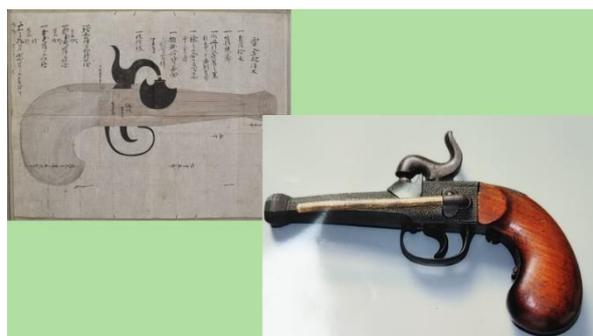
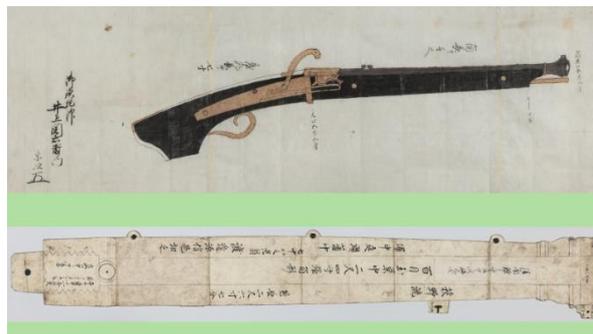
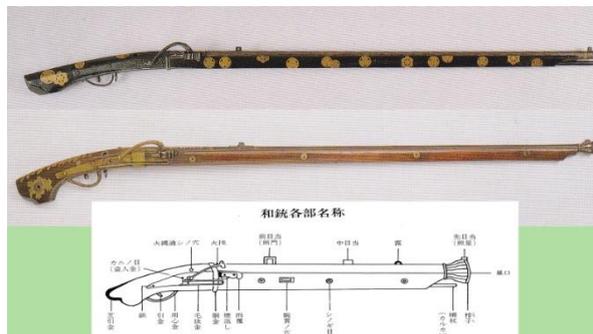
もう一つは、幕末明治期の当主井上壽次が家訓として、文書はもとより家財に至るまですべて取り置くことを旨と定めたことでした。そのために先に述べた2万点を超える文書と3千点を超える鉄砲生産関係道具や家財が今日に伝わったのです。

まさに堺の町の物づくりタイムカプセルが井上家なのです。堺市ではこの貴重な資料を基に、家屋敷を「堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム(仮称)」として、令和5年開館を目指して整備を進めています。今後も開館までの都度都度に成果報告などを織り込んでゆく予定ですのでお楽しみにお待ちください。

<余談>

以前卓話でお話させていただいた五代友厚の伝記映画が、先ごろ亡くなった三浦春馬さん主演で

今年12月に封切られます。堺のことはほとんど触れられていないのは残念ですが、堺とも縁の深かった五代の初の映画化です。ぜひご覧ください（小生もチラッとエキストラしております、御笑覧を!?)



会長の時間

会長 山中 喜八郎



皆様、「お早うございます」と申し上げていいのか、「こんにちは」と申し上げてよいのか分かりませんが、雨の金曜日で憂鬱でございます。

本日は、お足元悪い中、またご多用のところ、井溪様ようこそお越しくださいました。本日も堺のお話、楽しみにしております。よろしくお願いたします。

さて10月24日は「ポリオの日」です。ポリオとは日本語で何と言うかご存知ですか。急性灰白髄炎と言うそうです。

実は昭和22年に私だけではなく、同じ村、今で言う中区東山で10人くらいポリオにかかりました。知識も情報もない大人たちが、明らかに様子がおかしい子どもたちにあたふたする中、村の唯一のお医者さんが、偶然我が家の前を通り、相談したところ、もしかして「小児麻痺では？」と疑い、直ぐに手術にかかってくれて、髄液を全部抜き替え、私一人だけ後遺症もなく助かりました。他の方は、車いす生活を余儀なくされていました。

今こうしていられるのは、この上ない幸せな事と、毎日毎日手を合わせております。

今日は少し暗いお話をしましたが、次の会長の時間にはもっと楽しい話にさせていただきます。

有難うございました。

SAA報告

山中喜八郎会員 井溪様をお迎えして。本日よりしくお願いたします。

木畑 清会員 卓話楽しみにしています。井溪様よろしく。

奥野圭作会員 井溪さん、今日は大変有難うございます。よろしくお願申し上げます。

- 那須宗弘会員 井溪先生ようこそお越しく
 きました。今日のお話楽しんで聞
 かせて頂きます。
- 三上尚嘉会員 遅れましたが、40周年おめでと
 うございます。
- 嶽盛和三会員 井溪様卓話ありがとうございます
 す。予習のため先月利品の杜ミ
 ュージアムへ行ってまいりました。
 本日はよろしく願いいたします
 す。
- 中田 学会員 井溪様本日の卓話楽しみです。
- 塩見 守会員 井溪様本日の卓話楽しみにして
 おります。
- 藤永 誉会員 皆様いつもありがとうございます
 す！

合計25,000円

◆米山特別寄付…濱口正義会員

幹事報告

(1) 配布物

- ・週報
- ・卓話資料
- ・ロータリーの友 10月号

- (2) 11月例会場は天兆閣別館4F「ローズ」です
 南海グリン東店3F「宴」の会場は11月6日
 より11月28日(予定)まで改装工事のため、
 この期間、本来の例会場、天兆閣4F「ロー
 ズ」での開催となります。
 お間違いなきようお願いいたします。

その他

第99回 北輪会のご案内
 ゴルフ同好会

代表世話人 塩見 守

この度「第99回北輪会」を下記のように企画開
 催させて頂く運びとなりました。

ご多忙の折りと存じますが、万障お繰り合わせの
 上是非ご参加賜りたくご案内申し上げます。

日時：令和2年 11月28日(土)

場所：天野山カントリークラブ
 堺市南区別所 1549-46

☎072-284-1919

集合：AM8:30

お着替えを済ませて練習グリーンへ

スタート：AM8:49

西南/南西コース (8組予定)

会費：おひとり様 6,000円

(賞品および会食費)

競技方法：18ホールストロークプレー

初参加、第90回から参加2回未満の方は
 Wペリア

エントリーの都合上締切日までに事務局(FAX
 Eメール)までご回答願います。

例会にてお返事頂いても結構です。

締め切り 11月12日(木)

米山月間はなぜ10月？

国際ロータリー理事会が指定したロータリー
 の特別月間に加え、日本独自の月間テーマとし
 て、10月は米山月間となっています。
 なぜ、10月なのでしょう？

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28
 日までの1週間を「米山週間」とすることが決
 定しました。ある地区ですで行われていた強
 化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進す
 ることが目的でした。しかし1980年度にな
 ると、米山週間は4月から10月1日～7日へ
 と変更されました。その理由はいくつかあり
 ます。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978
 年度から4月となり、重なってしまったこと。
 また、4月では各クラブへ送付される事業報告
 書などの資料数字が約1年前のものとなること
 や、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼す
 ることに無理がある、ストックが多い、などの現実
 的な支障があったためです。そして何よりも、東京
 RCによる米山基金から日本全地区クラブの共
 同事業とする決議や合意が行われた地区大会
 が、いずれも10月だったこと、これが大きな
 理由とされています。

1983年からは週間制度が「月間」となり、10
 月が米山月間として定着し、今に至っています。
 (ハイライト よねやま vol.247より)

例会風景



ロータリー財団表彰
 三上尚嘉会員…ポール ハリス フェロー③